

扇風機

経年劣化で発火恐れも

(2017年7月11日掲載原稿)

これからの季節、よく使う扇風機。長年使っている製品は熱や湿気、ほこりなどの影響で内部部品が劣化すると、発煙・発火の恐れがあるため注意が必要です。

【事例】19年前に買った扇風機を使っていたら、製品から火が出て、本体とその周辺が焼損した。長年の使用で、首振り部の内部配線に負荷が掛かって断線し、火花が発生して出火したことが原因だった。

【注意事項】扇風機の内部配線やコンデンサーなどの部品は、長期使用で劣化していきます。

- 1、スイッチを入れても、ファンが回らない。
- 2、ファンが回っても、異常に回転が遅い、または不規則だ。
- 3、回転するときに異常な音や振動がする。
- 4、モーター部分が異常に熱い、または焦げ臭いにおいがする。
- 5、電源コードが折れ曲がったり破損したりしている。
- 6、電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなかったりと不安定だ。

このような症状がある場合は、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店やメーカーに相談してください。

なお2009年4月から経年劣化事故防止の観点で、事故件数が多い製品（扇風機・エアコン・換気扇・洗濯機・ブラウン管テレビ）について、設計上の「標準使用期間」と、経年劣化を注意喚起する表示などが義務化されました。使う頻度や環境によって、劣化の速さは異なりますが、一つの目安として参考にしてください。

物を長く使うことは大切ですが、徐々に劣化は進みます。家電製品にも寿命があり、異常がみられたら使用を中止しましょう。